

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	生活を支える社会保障の充実					
(2)	総合計画の体系	第 3 章	健康で安心して暮らせるまちづくり				
		第 5 節	生活を支える社会保障の充実				
		第 0 細節					
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		1,626	1,312	2,646	
		従事職員数		0.46 人	0.50 人	0.45 人	
		所要人件費(B)		3,657	4,178	3,677	
		総事業費(A+B)		5,283	5,490	6,323	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	5,283			5,490	6,323		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	式典出席者数	目標値 (単位:人)	300.00	300.00	300.00
		実績値 (単位:人)	287.00	312.00	
		達成度(%)	95.7	104.0	
目標値の積算方法	出席者数300名(各種団体100名、一般200名)				
指標内容	なし	目標値 (単位:なし)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:なし)	0.00	0.00	
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法	なし				

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

限られた対象者の事業について、受益者以外の市民の立場で、コスト、実施意義に関して理解が得られるのかを精査して事業を進めるべきであると考えます。災害見舞金は見舞金、弔慰金を速やかに現金給付することで災害時の被災者を援助する福祉施策としての価値があり受益者以外の市民の理解は得られると考えます。戦没者等追悼式実施事業は出席者数の減少が懸念されますが、参加対象者以外の市民に対しても平和について理解してもらおうということで実施意義は有り、児童養護施設中学校卒業激励事業、災害救助資金の貸付事業については、養護施設の児童、災害被災者を対象にするものですが、未来ある若者を社会に送り出すことや、要援護者に対する援助ということで受益者以外の市民から見て理解は得られると考えます。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	災害見舞金等支給事業	生活福祉室	00349	全部	大	14	18	16	18	20	86	継続
2	戦没者等追悼式実施事業	生活福祉室	01082	全部	大	14	18	14	18	20	84	継続
3	児童養護施設中学校卒業激励事業	生活福祉室	01081	全部	中	12	14	12	16	20	74	継続
4	災害救助資金の貸付事業	生活福祉室	01382	全部	中	14	12	12	14	16	68	継続
5	災害弔慰金の支給、災害障害見舞金の支給及び災害援護資金の貸付	生活福祉室	01294	なし	中	14	10	14	12	18	68	継続
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		評価点の高い事業から優先順位をつけました。災害見舞金は災害等により困窮する被災者の救済措置として実施意義は有り、戦没者等追悼式実施事業は市民に対して平和への思いを実感として伝えるということで実施意義は大きいと考えます。										